

ソースネクスト株式会社 2018年3月期第2四半期 連結累計期間事業報告書

2017年4月1日～2017年9月30日



ソースネクスト株式会社
代表取締役社長
松田 憲幸

皆様におかれましては、ますますご健勝のこととご拝察申し上げます。
平素は格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、1996年の創業以来、製品を通じて喜びと感動を世界中の人々に広げることがミッションに、お客様のご期待にそえる製品の企画・開発に注力して参りました。近年は成長著しいスマートフォンアプリの企画・開発を積極的に拡充し、従来のパソコンソフトと併せて、お客様のニーズや時代に合った新しいビジネスの創造に努めました。当第2四半期連結累計期間は、語学学習ソフト「ロゼッタストーン」の新製品発売や、ハガキ作成ソフト「筆王」「筆まめ」「宛名職人」の拡販を推し進めました。これにより、当第2四半期連結累計期間においては、予想を上回る業績となりましたことをご報告申し上げます。これもひとえに、株主の皆様の励ましとご支援のおかげと感謝の念に堪えません。

株主の皆様の多大なご支援に深謝申し上げるとともに、引き続き、社名の由来でもある「次の常識をつくる」をスローガンとし、製品を通じて世界中の人々に喜びと感動を広げるべく、お客様視点で世界市場への展開を目指して参ります。

皆様のより一層のご理解、ご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

2017年12月

会社情報

会社の概況 (2017年9月30日現在)

商号	ソースネクスト株式会社
英文社名	SOURCENEXT CORPORATION
設立年月日	1996年8月2日
本社所在地	〒105-7133 東京都港区東新橋1丁目5番2号 汐留シティセンター 33階
資本金	1,771百万円
従業員数	単体109名(臨時6名含む) 連結150名(臨時6名含む)
事業内容	パソコン・スマートフォンソフトウェア及び ハードウェア製品の企画・開発・販売

役員の状況 (2017年9月30日現在)

代表取締役社長	松田 憲幸
代表取締役副社長	松田 里美
取締役 専務執行役員	小嶋 智彰
取締役 常務執行役員	青山 文彦
社外取締役	生田 正治
社外取締役	久保利 英明
社外取締役	安藤 国威
常勤監査役	高野 正三郎
常勤監査役	廣瀬 正明
社外監査役	小林 哲也
社外監査役	高野 角司

株式の状況 (2017年9月30日現在)

発行可能株式総数	90,280,000株
発行済株式の総数	31,732,000株
株主数	7,789名

企業理念

社名の意味

「次の常識をつくる」

ソースネクスト株式会社 最高戦略

ミッション

製品を通じて、喜びと感動を、
世界中の人々に広げる

行動指針

真剣に取り組む
ポジティブに考える
感性を磨く

ビジョン

世界一エキサイティングな企業になる

エキサイティングの3条件
正しい
喜ばれる
面白い

NEWS

50言語以上、世界中で使える「通訳デバイス」を発売

ソースネクストは、2017年10月、初のハードウェア製品として、通訳デバイス「POCKETALK(ポケットーク)」を発表。英語をはじめ、中国語、韓国語、フランス語など、対応63言語なら、話しかけるだけで、相手先言語に翻訳して音声で伝えられます(21言語はテキストでの翻訳)。また、専用グローバルSIMを装着すると、世界61カ国で使えます。互いの言葉を知らない人同士が対話でき、言葉の壁をなくします。

POCKETALK™
ポケットーク



入力された音声はクラウド上で音声認識、文字変換、翻訳、音声合成など高度なデータ処理を経て、瞬時に返されます。外国のお客様への対応から海外旅行やビジネスなど、幅広いシーンで活用できます。

世界初、LINEにも届く留守電サービス

2016年5月より、読める留守番電話サービス「スマート留守電」をスタート。その場で内容が読めるだけでなく、メールでもLINEでもメッセージが読めます。もちろん、従来のサービス同様に聞くこともできます。2017年1月には、海外版の「iGotcha」も発売。米国アプリ市場へ進出しました。

スマート留守電

iGotcha

読める

メールでも

LINEでも

14言語に対応

+

電話せず聞ける

メールでも

複数台でも

圏外でも

海外でも

LINEでも

メールでも

スマートフォンアプリ

大手3キャリアのすべてにアプリを提供

ソースネクストは、スマートフォンの大手3キャリアすべてのアプリ使い放題サービスに採用され、のべ89タイトルを提供しています。

提供開始	キャリア	サービス名	提供アプリ数
2012年3月	KDDI(株)	「auスマートパス」	39
2013年6月	(株)NTTドコモ	「スコ得コンテンツ」	23
2014年8月	ソフトバンク(株)	「App Pass」	27

(2017年10月時点)

提供アプリの例



パソコンソフト

24言語の世界的な語学学習ソフト「ロゼッタストーン」

日本語を一切使わない独自のプログラムで、全24言語をカバーする世界的な語学学習ソフト「ロゼッタストーン」の権利を取得し積極的なマーケティングを展開。2017年6月には日本法人を子会社化しました。6月には、全国の家電量販店でパッケージ版を発売。9月には英語版の中・上級編のダウンロード版を販売開始し、認知度の向上及びユーザー層の拡大に努めています。

年賀状ソフトのシェアを大きく拡大

2016年4月にMac用の年賀状作成ソフトのトップシェア製品「宛名職人」の独占販売権を取得。2017年5月には、株式会社筆まめを子会社化し、Windows用のトップシェア製品「筆まめ」の販売を推し進めました。ソースネクスト・グループで店頭年賀状ソフトのシェア7割以上を目指しています。



使い放題サービス

アプリケーションの新しいあり方

当社は、幅広い分野の数多くのアプリケーションを扱う特長を活かして、定額使い放題サービスにも注力しています。自社製品として販売するだけでなく、積極的なOEM提供により幅広い業種に販路が広がっています。

サービス名	用途・対象	提供先
「アプリ超ホーダイ」	スマホ用	インターネットプロバイダー、ケーブルテレビ会社 格安スマホ販売事業者、パソコンスクール、 スマホ・パソコン販売業者 など
「超ホーダイ」	パソコン用	同上

アプリ超ホーダイ

超ホーダイ

性能世界一のウイルス対策ソフト「スーパーセキュリティ」と、120本以上の一般ソフトが使い放題のサービスです。

100種を超える有料のスマホアプリが低料金で使い放題となるサービスです。

ユーザーサービス

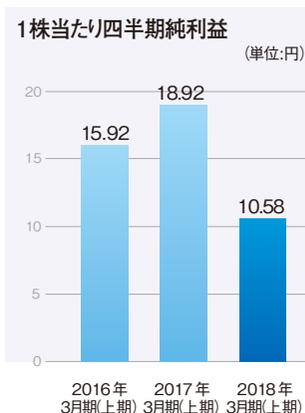
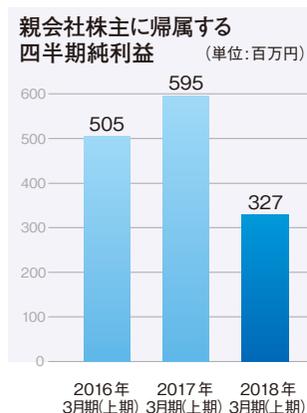
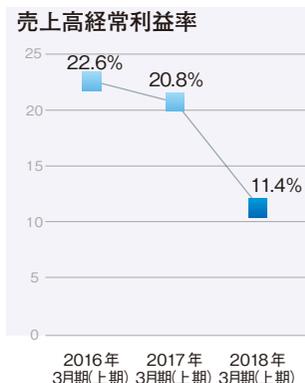
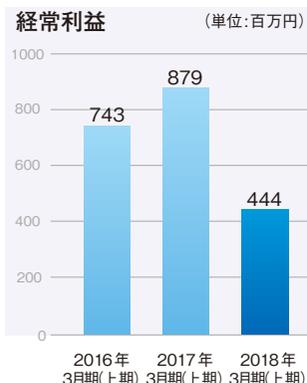
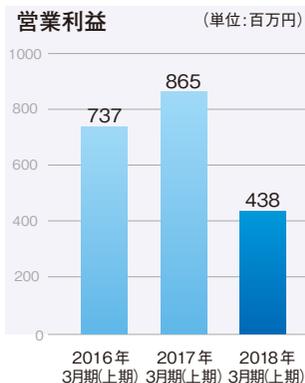
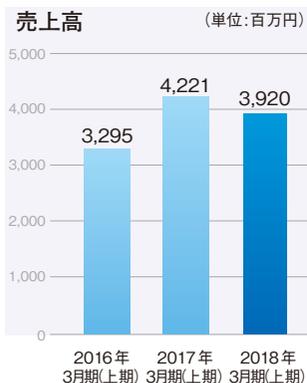
1500万人を超えるご登録ユーザー

ソースネクストでは2000年より、自社サイトでの通販やダウンロード販売を開始。製品を購入しユーザー登録されたご登録ユーザー数は、のべ1500万人を超えています。ご登録ユーザー向けのサービスを充実させ、リピーターの拡大に力を入れることにより、現在では当社の最も大きな収益源となっています。



財務ハイライト

四半期連結業績推移



当期の概況

当第2四半期連結累計期間(2017年4月1日～2017年9月30日)は、3月に権利を取得した「ロゼッタストーン」や、年賀状シーズンに先駆けたハガキ作成ソフト、及びスマートフォン向けアプリの拡充に注力して参りました。

パソコンソフトでは、「ウイルスセキュリティ」の延べ登録数が1000万本を超えることから記念の拡販企画を実施し、順調に登録数を拡大しました。ハガキ作成ソフトは「筆王」「筆まめ」「宛名職人」の3ブランドを掲げ、年賀状シーズンに先駆けて拡販を推し進め、売上に寄与しました。

自社eSHOPでは、「ロゼッタストーン」ブランドの自社開発製品である中・上級編製品や、「Corel」社の人気ソフトなどの拡販に努めました。

スマートフォン向けアプリ市場では、国内主要3キャリア(ドコモ・au・Softbank)のAndroidアプリ使い放題サービスにコンテンツを提供すると共に、既存製品のバージョンアップと新製品の拡販に努めました。次世代留守番電話アプリ「スマート留守電」やスマートテレビ向けのセキュリティアプリ「スーパーセキュリティ for Android TV」などを発売いたしました。

当期間は、前期にあったセキュリティソフト新作の出荷や、「Windows 10」無償アップデート期間が終了間際だったことによる駆け込み需要が発生しなかったため、前年同期のような急伸はないものの概ね想定通りの収益となりました。売上高は39億20百万円(前期比7.1%減)、営業利益は4億38百万円(前期比49.4%減)、経常利益は4億44百万円(前期比49.4%減)となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は3億27百万円(前期比45.0%減)となりました。



四半期連結財務諸表(要約)

四半期連結貸借対照表

2017年9月30日現在(単位:千円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
流動資産	4,381,852	流動負債	1,704,863
固定資産	4,501,975	固定負債	1,348,776
有形固定資産	272,267	負債合計	3,053,639
無形固定資産	3,288,186	純資産の部	
投資その他の資産	941,521	株主資本	5,481,631
資産合計	8,883,827	その他の包括利益累計額	283,654
		新株予約権	64,902
		純資産合計	5,830,187
		負債純資産合計	8,883,827

四半期連結損益計算書

2017年4月1日から2017年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
売上高	3,920,232
売上原価	1,110,767
売上総利益	2,809,465
販売費及び一般管理費	2,371,168
営業利益	438,296
経常利益	444,952
税金等調整前四半期純利益	439,068
法人税等合計	111,371
親会社株主に帰属する四半期純利益	327,696

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

2017年4月1日から2017年9月30日まで(単位:千円)

科目	金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	△297,062
投資活動によるキャッシュ・フロー	△686,507
財務活動によるキャッシュ・フロー	△903,180
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,814,330

資本政策と通期の見通し

現時点では、2017年5月12日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

10月には、新製品の「POCKETALK(ポケットーク)」を発表いたしました。本製品は世界50言語以上対応の先進の通訳デバイスです。話しかけるだけでクラウド上の最適翻訳エンジンを判別して、指定した言語に翻訳して音声で返答します。また、2020年の東京オリンピックを控え高まるインバウンド需要を背景に、空港やホテル、観光業など大手各社での導入・採用が決定されるなど、非常に関心が高まっております。

第3四半期では年賀状シーズンが本格的に到来することからハガキ作成ソフト「筆王」「筆まめ」「宛名職人」の拡販を更に押し進める予定です。主力製品のセキュリティ対策ソフトは、コンピュータウイルスや不正アクセス等にかかる問題が今後も続くことから、一定数の需要を見込むものと想定しております。今後も引き続き、知的財産権を積極的に取得すること、多様な販売チャネルを活かして販売を強化するとともに、新規ユーザーの獲得とマーケットの拡大に繋げて参ります。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月開催
基準日 定時株主総会 毎年3月31日
期末配当 毎年3月31日
その他必要がある時は、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
及び特別口座の 三井住友信託銀行株式会社
口座管理機関

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先)

〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先)

 0120-782-031

(インターネットホームページURL)

<http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

(株式に関する住所変更などのお届出及びご照会について)

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更などのお届出及びご照会は、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、上記の電話照会先にご連絡ください。

(特別口座について)

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていない株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座)を開設いたしました。特別口座についてのご照会及び住所変更などのお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告の方法により行ないます。
(<http://sourcenext.co.jp/>)
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

証券コード 4344

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部



ソースネクスト株式会社

〒105-7133

東京都港区東新橋1丁目5番2号

汐留シティセンター33階

tel. 03-6254-5231(代表)

●Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標もしくは登録商標です。
●その他の会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

よくあるお問合せ

Q. 最も人気の高い製品・サービスは何ですか?

A. セキュリティソフトの「ZERO」シリーズです

「ZEROウイルスセキュリティ」のご愛用者は、累計1000万人を超えています。

注：2017年10月末時点

Q. 株主還元策はどのように考えていますか?

A. 安定的に配当する方針を堅持しています

業績・配当性向及び中長期の企業成長に必要な投資額などを総合的に考慮した利益配分を基本方針としております。2017年3月期は自己株式の買付を実施し、配当性向15%に創立20周年記念配当(1円)を加えて還元いたしました。2018年3月期も、経営状況を勘案した上で、予想配当性向を15%として実施する方針です。今後も、経営状況を勘案しながら安定的に配当する方針を堅持して参ります。

Q. 今後の事業戦略は?

A. スマホアプリとパソコンソフトの資産を活かし、さらに今後はIoT分野にもビジネスを拡大します

Windows10関連製品を始めとする既存製品の拡販と、IP(知的財産権)取得による新製品の市場への投入を積極的に行ないます。また、10月に発表した50カ国語以上対応の通訳デバイス「POCKETALK(ポケトーク)」を皮切りに、IoT分野でも世界の有力企業と積極的にパートナーシップを組んでいきます。

Q. コンプライアンス体制の構築はされていますか?

A. はい、コンプライアンス重視の風土を築いております

当社の理念「世界一エキサイティングな企業になる」では、エキサイティングを「正しい、喜ばれる、面白い」と定義し、正しさを求める風土を醸成しています。また、勤務形態を問わず入社時と年に1度の研修やテストの履修を義務づけるほか、社員で構成される委員会活動などで教育をしております。さらに、法令上疑義のある行為は、全従業員が匿名で当社と利害関係のない独立機関を通じて会社に報告できる「企業倫理ホットライン」を設置、運営しています。